



Community Solutions Forum

地域循環フェス 2025

地域循環フェス2025 ～おたがいさまの地域づくり～

つながることで、課題は資源になる

現代社会では、経済的な困難や地域ごとの課題が複雑に絡み合い、個人や家庭が抱える問題も多様化・深刻化しています。格差や孤立が広がるなかで、私たち一人ひとりが直面する「困りごと」を地域全体で共有し、知恵や力を持ち寄ることが、持続可能な社会への第一歩です。

フェスの理念と背景

社会課題の現状

経済格差の拡大や地域コミュニティの希薄化により、個人や家庭が孤立しがちな現代。さまざまな「困りごと」が見えにくくなっています。

必要な変化

立場や分野をこえて、互いの課題や資源を開示し、協力し合える場が必要です。個々の問題を地域全体の課題として共有することで解決の糸口が見えてきます。

目指す姿

地域内の小さな循環を生み出し、「困りごと」を「誰かの力になれるかもしれないもの」として再定義する社会。互いを支え合う持続可能なコミュニティづくりです。

地域循環フェスは、2024年から始まった「民間による社会課題解決創造事業」です。衣・食・住の身近な困りごとや、地域で感じるモヤモヤを、「誰かの力になれるかもしれないもの」として持ち寄り、ゆるやかにつながりながら、地域の未来を一緒に考えるフェスとして誕生しました。

2025年のテーマ

「課題を資源に変える、共創の場」



社会課題とは、誰かの困りごとであると同時に、誰かの力になれる可能性でもあります。その可能性をひらくために、私たちは互いのスキームや資源を開示し、分野をこえて連携することで、地域に根ざしたソーシャルソリューションを育てていきます。

フェスは「展示」や「販売」だけではありません。人と人が出会い、話し、ひらめく場所です。課題を「隠すもの」ではなく「分かち合うもの」として捉え、やさしく、楽しく、未来を描く時間をともに過ごしましょう。

地域の小さな循環を生み出す

地域内の資源と課題をつなぐことで、新たな価値が生まれます。それぞれが抱える「困りごと」と「できること」を共有することで、地域全体の課題解決力が高まります。



食の循環

使いきれない野菜を持つ農家さんと、子ども食堂を運営する団体がつながることで、食品ロスの削減と子どもの食の保障を同時に実現します。



場の循環

空いているスペースを持つ事業者さんと、居場所を探している福祉関係者がつながることで、遊休施設の活用と地域の居場所づくりが進みます。



モノの循環

廃材を抱える工房と、創作活動をしているアーティストがつながることで、廃棄物の削減と文化的な豊かさを両立させることができます。

こうした小さな循環の積み重ねが、持続可能な地域社会の基盤となります。フェスではこれらの実例を紹介し、新たなつながりを生み出す機会を提供します。



主要企画①：Community Solutions Forum

社会課題解決に取り組む事業者や団体による出展ブースです。各出展者は自らの取り組みを紹介するとともに、抱えている課題や必要な資源についても共有します。来場者はブースを回りながら、地域内の様々な活動を知り、自分ができる協力の形を見つけることができます。



食の循環

フードロス削減を基軸テーマにした民間事業者のソリューション事業



モノの循環

ごみの減量化を基軸テーマにした民間事業者のソリューション事業



場の循環

空き家対策を基軸テーマにした民間事業者のソリューション事業



福祉事業

児童福祉、障がい福祉、高齢福祉などの課題解決を基軸にした民間事業者のソリューション事業

主要企画②：Social Impact Conference

社会的インパクトを重視する取り組みの共有・議論の場です。社会課題解決事業プレイヤーや学生などの企画者による事業プレゼンテーションを行います。参加者は単に聞くだけでなく、アイデアや資源の提供を通じてプロジェクトの発展に貢献することができます。

プレゼンテーション

各団体が10分程度で自らの事業や活動内容、社会的インパクトについて発表します。地域課題の解決に向けた独自のアプローチを共有します。

パネルディスカッション

複数の登壇者が「地域循環」をテーマに意見を交換。異なる分野の視点から、持続可能な地域づくりについて議論します。

交流セッション

発表者と参加者が直接対話できる時間を設け、具体的な連携の可能性を探ります。名刺交換だけでなく、その場で協力体制を構築することを目指します。



主要企画③：Free Clothing Market

衣類の譲渡会は、不要になった衣類を必要とする人へ無償で提供するイベントです。衣類の再利用を通じて、環境負荷の軽減と経済的支援を同時に実現します。

寄付の受付

フェス前日および当日、洗濯済みの衣類を受け付けます。季節を問わず、状態の良い衣類であれば種類は問いません。

コミュニティ形成

衣類を通じた交流が生まれ、地域のつながりが強化されます。困りごとの相談など、新たな支援の輪が広がることも期待されます。



仕分け作業

ボランティアの協力のもと、サイズ・種類別に仕分けを行い、見やすく配置します。誰でも探しやすい環境を整えます。

自由な受け渡し

必要なものを必要な人が自由に持ち帰れます。寄付の有無にかかわらず、誰でも参加可能です。

余った衣類は、フェス後に地域の福祉施設や災害支援団体などに寄付されます。「もったいない」を「ありがとう」に変える循環の輪を広げていきます。

参加のメリット

社会課題解決事業者・自治体関係者の皆さま

- 活動の認知度向上と理解促進
- 他団体との連携機会の創出
- 潜在的な支援者・協力者との出会い
- 地域内の資源との新たなマッチング

一般参加者の皆さま

- 地域の多様な活動への理解
- 自分にできる社会貢献の発見
- 新たなつながりの形成
- 必要な資源や支援との出会い

資源を無駄にせず、世の中のために「はたらく場」や「事業」を通じて社会課題の解消に取り組む皆さんの、発表と交流の場になれば幸いです。



「課題を隠すもの」ではなく「分かち合うもの」として捉え、やさしく、楽しく、未来を描く時間をともに過ごしましょう。

地域循環フェス実行委員長 高橋 憲示



開催概要



開催日時 2025年10月12日（日）
10：00～16：00



会場三条市 かんきょう庵
〒959-1102新潟県三条市福島新田乙367
TEL 0256-45-7040



主催・協力

主催：地域循環フェス実行委員会（共催：三条市）

協力：新潟大学（地域共創特別演習 三条）

入場料：無料

どなたでもご参加いただけます。お気軽にお越しください。

ご参加・お問い合わせ



出展者募集中！

社会課題の解決に取り組む事業者・団体の皆さま、ぜひフェスにご参加ください。
出展料は3,000円です。

申込方法

お申込み希望者は事務局までお問合せ下さい。

申込締切

2025年8月20日（金）まで
※ただし、出展枠に限りがあるため、締切前に募集を終了する場合があります。

お問い合わせ

地域循環フェス実行委員会事務局 NANOBRAND合同会社 内
TEL: 0256-55-1165（平日10:00-17:00）実行委員長 高橋憲示 080-4415-4631
Email: kenji@nanobrand.co.jp

ボランティアスタッフも募集しています。一緒にフェスを盛り上げましょう！